

## 薬局及び医療機関に対するニーズ調査（1/2）

### ① 医療機関の患者数・特性

医療機関へのヒアリング（自己申告）調査結果では、**NCDsのため民間医療機関に来院する患者数が全体の9割を超え、その数は横ばいか増加傾向**にある。

### ② 薬局の売上、顧客数・特性

低所得者を対象に小口販売（薬品のばら売り）を行う小規模店舗が多いが、**1店舗当たり利用者数は月間延べ約1,400人、売上額は年間平均約135万円**であり、鎮痛剤、胃酸抑制薬を主力に、今後も地域の需要に即した一定の市場規模が見込まれる。

### ③ 患者紹介の実績

リスクアセスメントシステム説明会に参加した薬局事業者84名は医療機関に対し**既に年間平均約265件（公的医療機関130件、その他医療機関135件）の患者紹介**を行っている。また、**導入対象の民間医療機関3施設は地元薬局から年間600件超の患者紹介**を受けている。同地域におけるNCDsの増加傾向から、今後も患者紹介ニーズが更に増加する可能性が見込まれる。

### ④ 薬局のシステム導入意向

リスクアセスメントシステム説明会に参加した**薬局事業者84人中77名がシステム導入に関心**を示し、希望支払額（月額）を回答した39名の9割（35名）が提示した価格帯（約13円～約662円）の**平均額は約274円**であった。

## 薬局及び医療機関に対するニーズ調査 (2/2)

### ⑤ 医療機関のシステム導入意向

29の民間一次医療機関管理者への聞き取り調査を行った際、管理者29名中29名がシステム導入に関心を示し、希望支払額（月額）の平均額は4,100円(そのうち本事業期間内の送客先となる3つの民間の1次医療機関においては平均で6,450円)であった。